


「民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進助成事業」

青森県 板柳町消防本部

「民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進助成事業」に係る平成16年度助成事業資器材活用状況について、板柳町消防本部（板柳町幼少年婦人防火委員会）から、次のとおり報告がありました。

防火防災訓練用資器材助成事業資器材の活用状況

実施年月日	実施場所	実施内容
平成16年4月18日	板柳町消防庁舎	春の火災予防運動の行事として「しょうぼう広場を」開催し、各種コーナーを設けて防災・防火・救急について理解を深めてもらった。この中で「救急救命コーナー」を設け、来場者に心肺蘇生法を体験してもらった。
平成16年5月6日	社会福祉法人 つがる三和会	各事業所等において職員等を対象に、「普通救命講習会」「普通救命再講習会」を開催
平成16年5月8日	株式会社 津軽りんご市場	
平成16年5月14日	有限会社 丸源産業	
平成16年8月20日	日新町内集会所	
平成16年9月9日	板柳町役場	
平成17年2月27日	社会福祉法人 鶴住会	
平成16年6月14日	板柳町消防本部	幼年消防クラブ指導者を対象に、普通救命講習会を開催した。
平成16年7月2日	板柳中学校	板柳少年消防クラブ中学2年生クラブ員を対象に、普通救命講習会を開催
平成16年7月2日	板柳南小学校	夏休みを前に、教師、PTA会員を対象に、心肺蘇生法講習会を開催
平成16年7月12日	小阿弥小学校	
平成16年11月28日	板柳町公民館	消防団員を対象に普通救命講習会を開催
平成17年2月20日	板柳町公民館	消防団員を対象に普通救命講習会を開催

写真は、板柳中学校において、平成16年7月2日、板柳少年消防クラブ中学2年生クラブ員を対象に開催した普通救命講習会の模様です。



▲ このページの上に戻る

婦人防火クラブ員による紙芝居・防火ビデオ上映会の実施

青森県 弘前地区消防事務組合消防本部

昨年の5月26・27日、6月1・2日、17日の5日間、弘前地区消防事務組合管内の藤崎地区婦人防火クラブ員（工藤勝子委員長・クラブ員15名）により、藤崎町内5幼保育園（藤崎幼稚園・藤崎保育所・ふじ保育園・西中野目保育所・小畑保育所）の園児188名を対象に紙芝居や防火ビデオの上映会が実施されました。園児に火に対する正しい知識を習得させ、防災意識の高揚を目的として活動を実施しています。

この行事は、藤崎地区婦人防火クラブの年間事業の一つとして実施しているもので、関係者や園児から好評を得ています。



▲ このページの上に戻る

安全で安心なまちづくりをめざして～「2005防災フェア」IN下関競艇場

山口県 下関市消防局

平成17年5月21日(土)、第17回防災フェア（日本防火協会、下関市少年婦人防火委員会主催）が下関競艇場で開催されました。

幼年消防クラブによる防火遊戯や防火ゲーム、婦人防火クラブ員を中心とした消火バケツによる消火競技大会、事業所を対象とした屋内消火栓による消火競技大会、自動体外式除細動器（AED）による心肺蘇生法が体験できる救急法コーナー、起震車による地震体験コーナー、はしご車体験乗車、



住宅防災機器コーナー、ボート乗船コーナーなど18のコーナーを設け、来場者約6,000人が楽しく体験しながら防火防災を学びました。



▲このページの上に戻る

少年消防クラブ誕生

熊本県 天草広域連合消防本部

御所浦小学校・嵐口小学校・御所浦南小学校の3校が統合し、御所浦小学校が誕生しました。これに伴い嵐口小学校にあった少年消防クラブが25年の長い歴史を閉じ、新たに御所浦小学校少年消防クラブが発足、結成式が5月19日同校体育館で行われました。

結成式には、御所浦町長、消防団長、辻田校長、教育長など関係者が出席され、クラブ員氏名発表後、天草地域幼少年婦人防火委員会会長からクラブ員49人一人ひとりに手帳が授与され、クラブ員を代表して吉本サヨリ副隊長が「きまりを守り、クラブ員として恥じない行動でその発展に努めます。」と力強い誓いのことばを述べました。

出席者から「いろいろな活動を通じて、消防及び火災などに対する知識を高めてください。」と激励の言葉がありました。



▲このページの上に戻る

福井豪雨に関する被害概要

福井県 婦人防火クラブ連絡協議会会長 小川英子

平成16年7月18日未明から福井県美山町内全域で降り始めた雨は、1時間で最大88ミリ、積算降水量285ミリという驚異的な集中豪雨を記録しました。(1時間あたり



20～25ミリの降水量で傘をさしていてもズブ濡れの状態になると言われています。)この降水記録は、福井気象台観測史上2番目となるもので、この記録的豪雨により、土砂崩れや足羽川の氾濫が発生し、美山町内のほぼ全域で甚大な被害が発生しました。被害概要は、次の資料のとおり報告されています。



【福井豪雨に関する被害概要（8月25日現在）】 （資料：「広報みやま」より）

- 災害の発生日時 : 平成16年7月18日（日）未明
 - 災害対策本部設置 : 平成16年7月18日（日）午前6時00分
 - 避難状況 : 避難勧告（最大）
- 【地区数】 5地区／6地区
【世帯数】 1,100世帯／1,415世帯
【人数】 3,992人／5,250人

■ 人的被害

区分	被災者数
死亡	1名
行方不明者	1名
負傷者	3名

■ 住宅等の被害

被害状況	世帯数
全壊	35世帯
半壊	37世帯
一部破壊	25世帯
床上浸水	138世帯
床下浸水	172世帯

■ 非住宅の被害

区分	棟数
文教施設	3棟
診療所等	1棟
福祉施設	1棟
その他の公共施設	12棟
公共施設以外の非住宅	739棟

■ 公共土木施設の被害

区分	箇所数
道路	59箇所
橋りょう	4箇所
河川	120箇所

■ その他の被害

区分	被害数
鉄道不通	1箇所
水道	568戸
電気	978戸

電話	572戸
----	------

■水道・下水道施設

区分	被害数
簡易水道	18施設
下水道	6施設

■農林水産業施設の被害

区分	箇所・区域
農業用施設 (農地・施設)	502箇所
農作物被害(稲)	221.5ha
林業施設	233箇所

■商工業の被害

区分	事業所数
商業・その他	169箇所



復興する美山町蔵作の劇団「ババース」

福井豪雨で死者・行方不明2人、77戸が全半壊するなど被害が大きかった福井県美山町。中でも被害がひどかった同町蔵作地区の高齢者たちの劇団「ババース」が話題になっています。団員のほとんどが床上浸水などの被害を受け、中には住宅が全壊した人もいます。仮設住宅での暮らしが続くなど厳しい生活条件下、「いつまでも落ち込んでいけない」と人生経験豊富な女性たちが見せる明るい味のある演技が受け、たくさん講演依頼がきています。



メンバーは56～81歳の16人。うち14人の自称「ばばあ」から劇団名を取り2002年に結成。高齢者サロンで講師をしていた元小学校校長の林幸男さん（68）が呼びかけました。平均年齢70歳のおばあちゃんたちがアドリブを効かせた喜劇を演じ、集落内外から訪れた人たちを楽しませています。豪雨後は今年は講演できないという雰囲気でしたが、「ボランティアのおかげで少しずつ復興している美山の姿を発信したい」と話し合っ、昨年の11月から活動を再開しています。

[▲ このページの上に戻る](#)

防火クラブ会長会議

島根県 雲南消防本部

雲南消防本部では、5月22日（日）に防火クラブ会長会議を消防本部大会議室において開催しました。現在、管内には366の防火クラブが結成されており、“私たちの地域は私たちが守る”を合言葉に消火訓練・防火座談会・救急法等を各地域で開催し、防火の輪を広げています。

会議に先立ち、平成17年度優良防火クラブとして、9クラブを表彰しました。

会議では、防火・防災知識の普及徹底を図るとともに、活動を活性化させるため、情報交換等を行い、また、住宅用防災警報器の設置についても説明等を行ないました。

今年は、雲南防火委員会結成20周年記念式典を秋に控えており、引き続き未結成地域には呼びかけを行なっているところです。

なお、平成17年4月28日付けで「雲南少年婦人防火委員会」から「雲南防火委員会」に名称を変更しました。



[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 「がんばれ消防」の開催](#)
- [2. 都道府県予防事務担当者会議](#)
- [3. 平成17年春の叙勲](#)
- [4. 婦人防火クラブ新会長紹介](#)
- [5. 防火管理再講習講師担当者会議](#)
- [6. 新住宅防火対策推進会議](#)
- [7. 地方からの便り](#)
- [8. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)